

愛川小田急多摩線延伸促進協議会だより

第11号

令和 5年 3 月 発行

発行／愛川小田急多摩線延伸促進協議会 編集／愛川町企画政策課

延伸実現に向けてPR活動などを実施しています

【ふるさとまつりPR活動】

小田急多摩線の延伸事業を皆さんに広く周知し、本協議会の活動内容などを知ってもらうため、PR活動を展開しています。

令和4年10月23日に3年ぶりに開催された「愛川町ふるさとまつり」では、PRブースを出展し、啓発物品やチラシの配布を行ったほか、ロマンスカーのペーパークラフト作成体験を行い、多くの方にご来場いただきました。



意見交換会の様子



【意見交換会】

令和5年2月3日に小田急多摩線の延伸に向けて取り組んでいる相模原市や町田市の住民団体及び関係市町村の議員で構成される議員連盟の計7団体で、活動状況や延伸の考え方などについて意見交換を行いました。地域によって課題は様々ありますが、共通の目標である小田急多摩線の延伸に向けて、今後、合同での要望活動を行っていくなど、連携を強化していくこととなりました。

協議会会長が一般功績者として表彰されました

令和4年11月3日に開催された愛川町表彰式において、当協議会の瀧会長が一般功績者として表彰されました。平成25年に協議会を設立し、会長に就いて以降、小田急多摩線の延伸実現に向けた署名や要望活動など、長年にわたる取り組みが町勢進展に大きく貢献したと評価されました。



小野澤町長から表彰を受ける瀧会長

町の方針が示されました ～第6次愛川町総合計画～

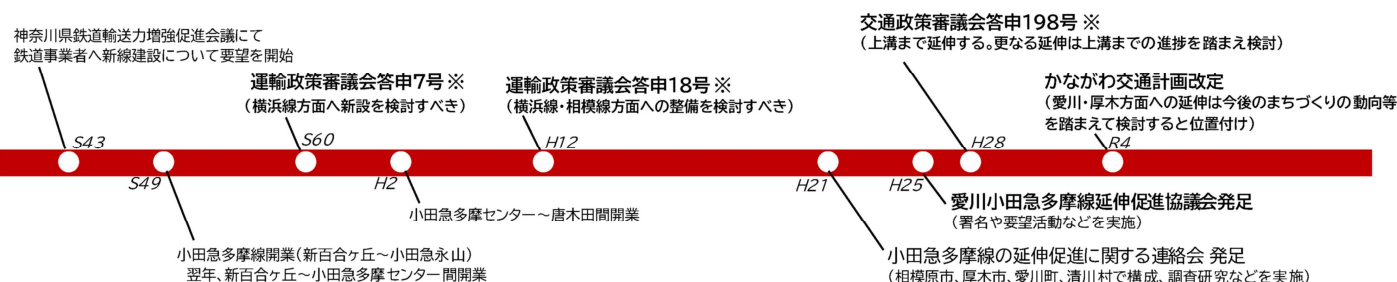
令和5年度からスタートする第6次愛川町総合計画が策定されました。本計画は町の最上位計画となっており、これに基づき、個別計画の策定や各種施策を展開していくものとされております。本計画において、小田急多摩線の延伸に関しては、「県の総合的な交通ネットワークの形成を目指し、望ましい都市交通を実現するための基本的な方針を示す

「かながわ交通計画」に、上溝から愛川・厚木方面が位置付けられたため、引き続き関係団体や住民団体と連携を図り、取組むことが重要」と記載されるとともに、地域交通網の利便性向上を図るために、今後も延伸に向けた取組みを促進していくことが位置付けられました。



小田急多摩線延伸のこれまでの状況

平成28年の国の交通政策審議会の答申では、上溝までは延伸し、その先については上溝までの進捗を踏まえて検討を行うことが望ましいとされたほか、令和4年に改定された県の「かながわ交通計画」では、愛川・厚木方面への延伸が今後のまちづくりの状況を踏まえて検討すると位置付けられました。延伸の実現に向けては、交流人口や関係人口の増加など、需要確保に向けたまちづくりを行っていくことが重要となっています。



※国土交通大臣(運輸大臣)の諮問に応じて交通政策に関する重要事項についての調査審議等を行う機関の答申

愛川小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体（42団体）

[自治会]

川北区、宮本区、原臼区、両向区、細野区、田代区、角田区、三増区、箕輪区、小沢区、上熊坂区、熊坂区、下谷八菅山区、二井坂区、桜台区、半縄区、坂本区、六倉区、大塚区、桜台団地区、春日台区

[商工団体]

愛甲商工会、神奈川県内陸工業団地協同組合、愛川工業クラブ、大塚下団地共栄会、(一財)繊維産業会、(公社)厚木法人会愛川支部、(一社)厚木青色申告会愛川地区会、あいちゃん商店会、愛川町観光協会、愛川町食品衛生協会、(一社)愛川町建設業協会、愛川管工事協会、愛川町電設協会、愛甲造園組合、愛川町自動車整備協会、愛川液化ガス協同組合、愛甲商工会青年部、愛甲商工会女性部、中津川漁業協同組合、(一社)神奈川県建築士事務所協会愛川支部、愛川町商業振興協同組合 《順不同》